

# 家族への子育て支援を考える feat.パパ

2024.2.17

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学教室

小出恵子准教授,田坂悠妃,中村莉子,森志桜里

本日は大阪大学の小出と院生の中村、森、田坂が担当させていただきます。  
テーマは、家族への子育て支援を考える feat.パパです

### 目的：「夫婦で子育てすること」を支援する必要性を理解し、支援方法について学ぶ

- 社会の変化に伴った子育てに対する考え方の変化がわかる
- 家族の子育て支援における、父親・母親への支援の必要性がわかる
- 明日から使える支援方法のヒント・考え方が見つかる

普段から子育て支援に力を入れている自治体、保健師の方が多いと思います。今回のすきっとでは、妊娠期からの子育て支援を充実するために、夫婦が協力して子育てすることを支援する必要性を理解し、父親・母親、夫婦への支援方法を一緒に考えたいと思います。今回は、ハイリスクな父親、母親ではなく、一般的な夫婦を対象にしています。

そのための目標として以下の3つをあげました。

まずは1つ目、社会の変化に伴った子育てに対する考え方の変化がわかることです。社会や父親・母親の考えたどのように変わってきているのか、双方に対してどのようなことを思いがあるのか紹介しますので、実際に父親や母親とお話しする場面をイメージしながらお聞きください。

次に、家族の子育て支援における父親・母親への支援の必要性がわかることです。母子保健における家族支援の必要性を、理論や父親による育児の影響から実感していただければと考えています。

最後に、明日から使える支援方法のヒント・考え方が見つかることです。支援のヒントを具体的な保健指導の場面にそってお伝えしますので、いつものような考えで、何を伝えようとしているのか、ご自身の実践を振り返りながらお聞きください。

## アウトライン

3

1. 夫婦の子育ての現状
2. パパ・ママの思いと夫婦の関係
3. ブレイク（スウェーデンとドイツの育児休業制度）
4. 夫婦（家族）への子育て支援（保健指導、先進優良事例の紹介）

本日のアウトラインはスライドのとおりです。

まず、最初に「夫婦の子育ての現状」として、父親にフォーカスをあて、どのように父親の育児が変わってきたのか、家族支援の必要性をお話します。

次に、パパ・ママそれぞれの思いや支援ニーズについて説明します。

その後、ブレイクを挟み、最後に「夫婦への子育て支援」として、父親・母親への保健指導、と先進優良事例をご紹介します。



夫婦の子育ての現状

この言葉にどんなイメージを持っていますか？

# イクメン

20年近く前から使われるようになったイクメンという言葉、について質問です。  
イクメンとはどのような人のことでしょうか。自分なりのイクメンに対するイメージを思い浮かべてください

## 何の略？

6

ぱっと  
思いつくのは...

イクメン とは...

育児をしているメンズ



実は...  
単に育児をしているだけでは  
イクメンではない！

イクメンと聞いてぱっと思いつくのは、「イクメンは育児をしているメンズ」である、ということでしょうか。元々「イクメン」という言葉は、育児をしているメンズ、という言葉の略として用いられているので、この印象が強いのではないのでしょうか。しかしながら、現在では価値観も変化し、単に育児をしている、というだけではイクメンとは言えないかもしれないのです。

## イクメンの定義

7

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



- 積極的に育児を行う男性。
- 単に子育てしているだけではなく、主体的に子育てを行い、楽しみ、そしてママと子どもと一緒に家族を創っていく、覚悟と責任のある父親。

**Fathering Japan**

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性。

厚生労働省のイクメンプロジェクトの定義では、「イクメン」とは「積極的に育児を行う男性。単に子育てしているだけではなく、主体的に子育てを行い、楽しみ、そしてママと子どもと一緒に家族を創っていく、覚悟と責任のある父親。」のことであり、

NPO法人のファザーリングジャパンでは「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性」と定義されています。

このように、自分から積極的に育児に関わろうとしている男性が「イクメン」になります。

## 育児に積極的なパパ

8

イクメンプロジェクト「イクメンの星」に掲載された投稿より抜粋

次男が生まれたのち、長期の入院生活を終えたばかりの妻には、生まれたばかりの赤ちゃんの育児は大変な負担をかけることになると思い、1ヶ月間の『育児休暇』を取得しました。



第1子の誕生を機に、自営業の妻に代わって子育てに手を挙げました。社内初となる育児休業は取得も大変。7ヶ月の育休が終わる頃には戻る部署が無くなり、専業主夫へ。現在は講演会など、地域の子育て環境の向上に取り組んでいます。

ここで、イクメンの体験談を紹介します。

ある男性は、長期の入院生活を終えたばかりの妻には、生まれたばかりの赤ちゃんの育児は大変な負担をかけることになると思い、1ヶ月間の『育児休暇』を取得しました。

また、第1子の誕生を機に、自営業の妻に代わって子育てに手を挙げました。社内初となる育児休業は取得も大変。7ヶ月の育休が終わる頃には戻る部署が無くなり、専業主夫へ。現在は講演会など、地域の子育て環境の向上に取り組んでいるそうです。

## 育児に積極的なパパ

9



お笑い芸人「NON STYLE」石田明さん

- 双子を含めた3人の子どもの父親
- 3ヶ月の育休、週休2日制を導入する「はたらき方改革」を実施

コロナ禍以前から、「バリバリ仕事をしつつ、家族との時間も過ごしている」と自分では思っていたが、写真や動画を見返していて、「子どもとめちゃくちゃ遊んでいると思っていたのに、写真が全然無い」と、これまでの生活に疑問を持った

また、お笑い芸人NON STYLEの石田さんは、双子を含めた3人の子どもの父親で、3か月間の育休、週休2日制を取り入れ、子ども・家族と過ごす時間を確保しています。

彼らのように、実際に育児に参加したい父親、育児休業を取得する父親は増えているのでしょうか？

## すこやか親子21(第2次)

10

**基盤課題C** こどもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

**目標** 妊産婦やこどもの健やかな成長を見守り親子を孤立させない地域づくり

**指標** ・ 積極的に育児をしている父親の割合

最終目標値(2024)：70.0%  
現在65.8%(2020)←ベースライン47.2%(H25)

・ 父親の育児休業取得割合

現在17.13%←ベースライン1.89%(H24)

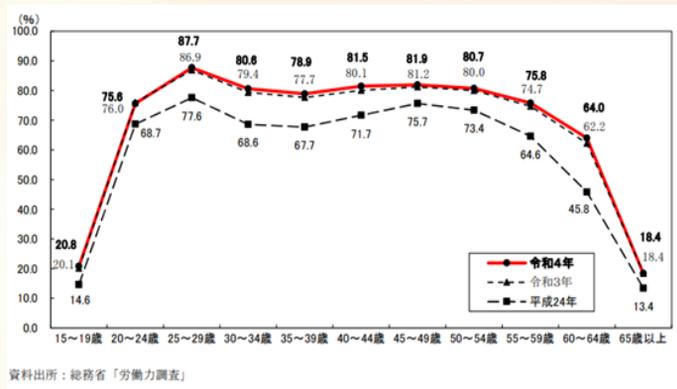


健やか親子21

育児に関わっている父親の増加

すこやか親子21第2次の基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」の評価指標では「積極的に育児をしている父親の割合」は、2013の47.2%から65.8%に、育児休業取得率、育休取得率も17.1%とこの数字自体は高くはないですが、2012年と比較するとすごく上昇しており、育児に関わっている父親が増加しています。父親が思っているほどに、母親は「育児に参加している」と感じていないかもしれませんが、父親も一緒に子育てする社会にだんだん変化してきています。

女性の年齢階級別労働力率

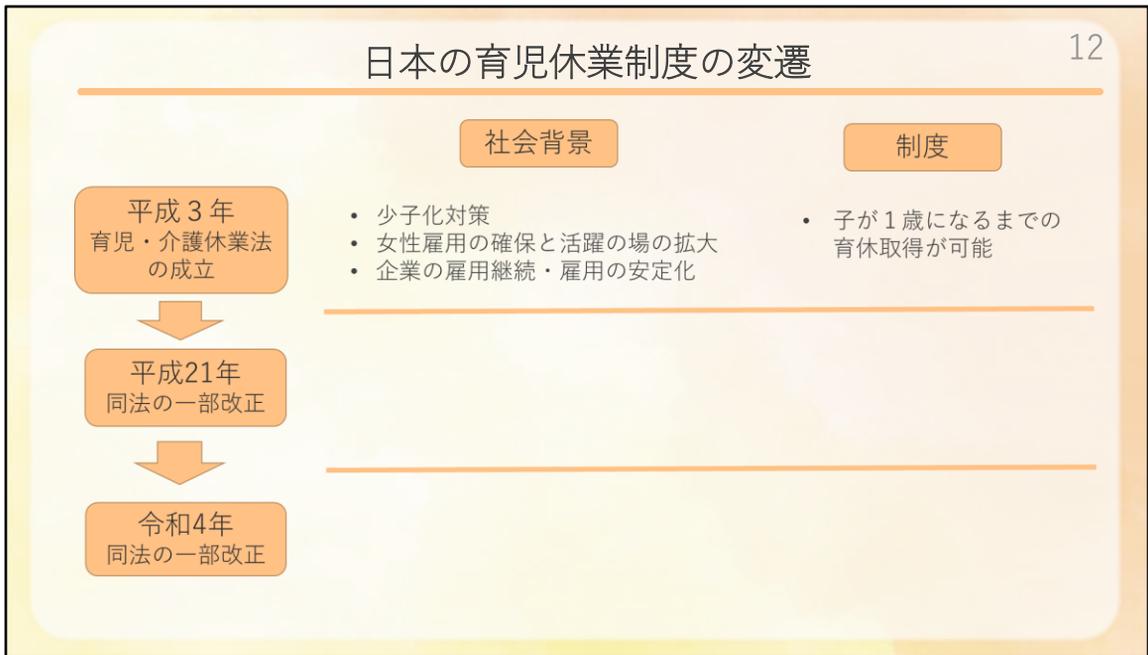


子育てをしながら働く女性が増え、共働き家庭が増加している

その背景の1つには、子育てをしながら働く女性が増え、共働き家庭が増加したことがあります。このグラフのおよように、昔はM字カーブと言われていた曲線も、いまは緩やかになっています。そのため、夫婦で育児を協力することがより求められるようになりました。そして、父親が育休を取りやすくなるように、制度が変わってきています。

## 日本の育児休業制度の変遷

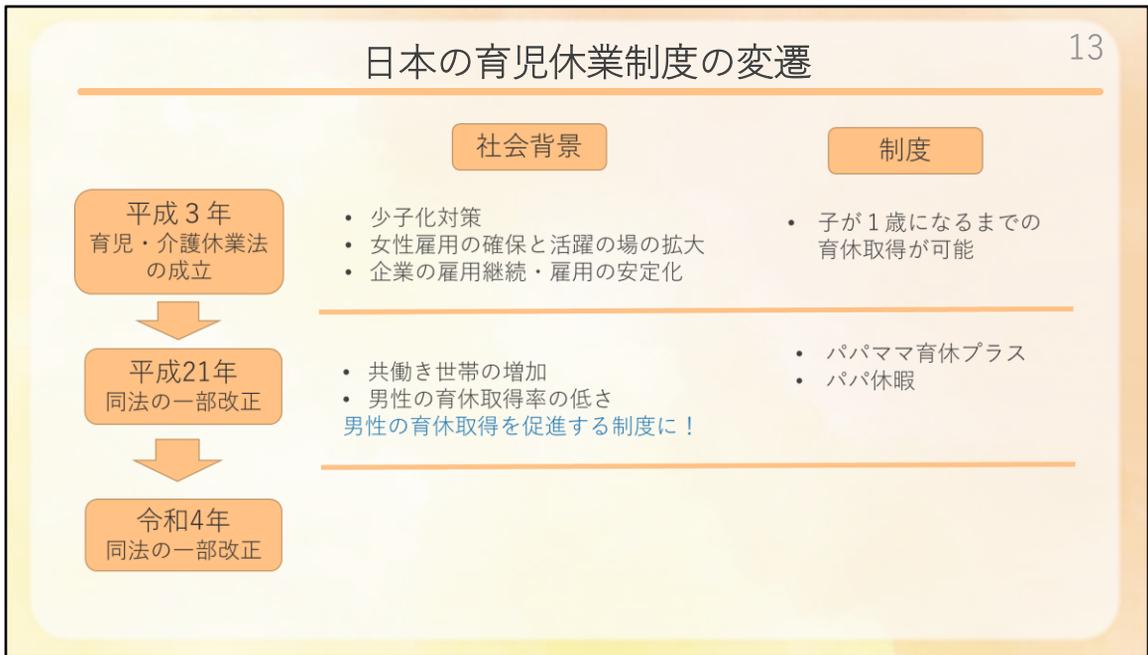
12



平成3年に育児・介護休業法が成立して以降、育児休業制度がどんどん進化しているのはご存知でしょうか。当初は、子が1歳になるまでの育休の取得が可能となっていました。

## 日本の育児休業制度の変遷

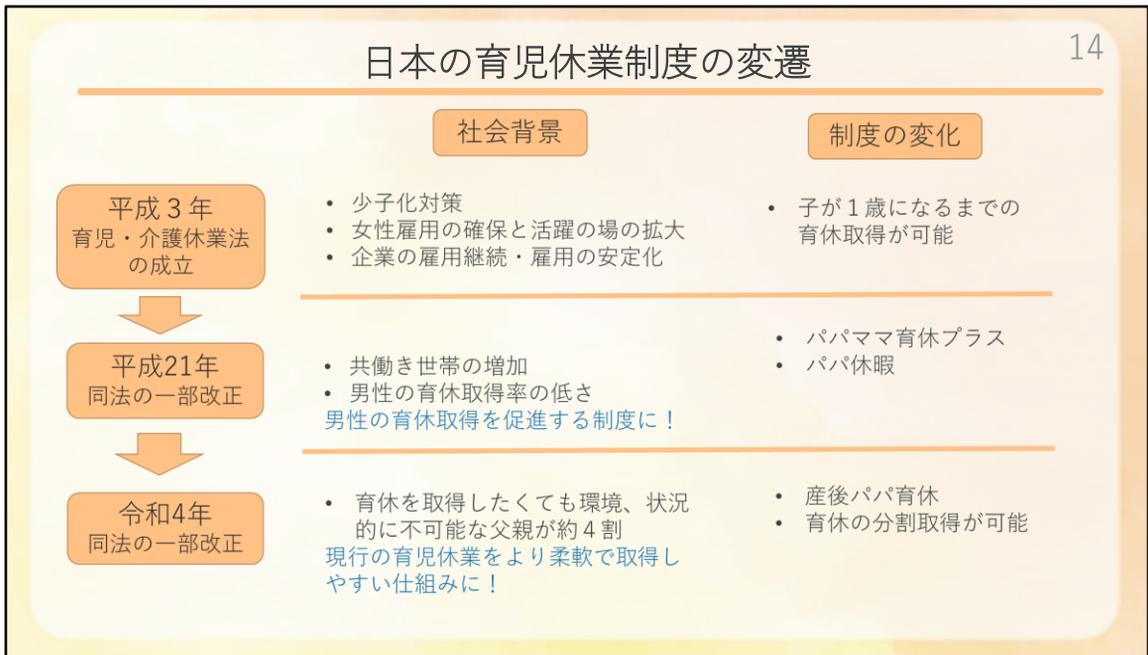
13



平成21年の改正では、父親が育児を取得することで育児の期間が延びるパパママ育児休業プラス、父親の育児の再取得が可能となる、パパ休暇といった制度が新設されています

## 日本の育児休業制度の変遷

14



そして、令和4年の改正では、産後パパ育休という制度が新設されました。これは、出生後8週間以内に4週間を上限にまとめて、あるいは2回に分けて取得できるものです。

そのため、こんにちは赤ちゃん事業では父親が自宅にいられることも多く、乳児健診でも父親が来所することが増えているのではないのでしょうか

# 母子保健における家族支援の必要性

15

## 育児に関する主な課題

育児不安

育児ストレス

孤立化

虐待

### 新婚期の発達課題

- 夫婦としての相互の理解を深め、絆を築く
- 新しい生活様式をつくりあげる
- 新しい親族との交流により新たな関係を築く



### 養育期の発達課題

- 2者関係から3者関係となり、新しい家族関係を形成する
- 親としての新しい役割を自覚し、育児という役割行動を修得する
- 役割分担を行い、健全なこどもの発達を助ける養育を行う

- 家族周期の移行期は、前の発達課題から次のものへと転換が求められる
- 危機に陥りやすい一方、乗り越えることで家族として発達する



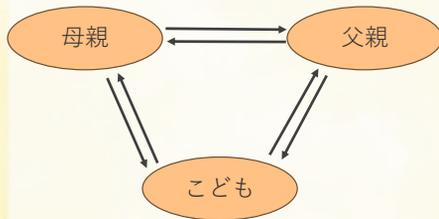
鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子。家族発達学 理論と実践第5班，日本看護協会出版会，2019

ここから、なぜ夫婦、家族支援が必要なのか説明します。

育児に関する主な課題には、育児不安や育児ストレス、孤立化、児童虐待などあります。家族発達理論をもとに考えると、これは新婚期から養育期に移行する際の課題ともいえます。移行期の家族は、前の発達課題から次の発達課題への転換が求められますが、それがうまくいかないと危機に陥りやすいと言われています。特に、養育期では子どもを含めた3者関係になり、新たな役割の取得と夫婦での分担が求められます。この時期を乗り越えることで家族として発達していくため、この移行期の家族、夫婦をいかに支援するのが重要になります。

# 家族への育児支援を考える視点

- 家族システム理論では、家族をメンバー同士の相互関係で成立している生きたシステムとして捉える
- 家族の問題を個人ではなく、家族というシステム全体に原因があるとし、家族システム全体を変化することで問題の解決を図る
- 問題だけでなく、家族の関係性そのものを改善することもできる。



家族システムの特徴

全体性	家族成員の変化は必ず家族全体の変化になって現れる
非累積性	全体の機能は家族成員の機能の総和以上のものになる
循環的因果関係	1家族成員の行動は家庭内に次々と反応を呼び起こす
恒常性	家族システムは内外の変化に対応して安定状態を取り戻そうとする
組織性	家族には階層性と役割期待がある

山崎あけみ(2015).『家族看護学第2版』,南江堂,pp.17-25  
鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子, 家族発達学 理論と実践第5班, 日本看護協会出版会, 2019

一般的な養育期の家族は、育児や仕事を含め、生活を維持するために、程度の差こそあれ夫婦で話し合い、それぞれに役割分担しています。そのため、家族メンバーは、意識する、しないに関わらず、互いに影響を及ぼし合っています。

家族システム論は家族を1つのシステムとして捉える考え方であり、その特性について、上から2つだけご説明しますが、全体性、家族成員の変化は必ず家族全体の変化になって現れるや、非累積性、全体の機能が家族成員の機能の総和以上になるといったものがあり、それ以外にもスライドに示しているようなものがあります。子どもと母親の変化は父親に、また父親の変化は母親や子どもにも影響することになります。つまり、夫婦を支援することにより、子どもを含めた家族を支援することになります。

## 父親の育児による効果：家族への効果

17

### 対母親

- 育児満足感、幸福感の増加
- 母親の育児の感動
- 育児困難感の減少
- 育児ストレスの減少

### 対子ども

- 16歳時点での心理的well-beingの低下リスクの減少
- 幼児の朝食欠食頻度の減少
- 幼少期の子どもの怪我や肥満の予防に
- 社会性や運動の発達の促進



加藤ら.2022.父親の育児参加が母親、子ども、父親自身に与える影響に関する文献レビュー.日本公衆衛生雑誌.69(5).321-337  
鍋島ら.2016.父親の育児参加と幼児期子どもの社会性の発達に関する研究.藍野学院紀要.28.41-53

父親が育児を行うことによって、母親に対しては育児満足感や幸福感の増加、育児ストレスの減少等が、子どもに対しては、朝食欠食頻度の減少といった生活習慣、怪我や肥満の予防、社会性や運動の発達を促すなど、母親と子どもにとってよい効果が見られます。

### 正の影響



- 父親の多くは子の誕生による「**自由の制限**」を感じるが、父親としての自己や社会に関わる人格の成熟を実感することで**子どもや家族への愛情を抱き、養っていこうとする責任感が芽生え、発達の欲求を満たしていく**(西尾ら,2012)

### 負の影響



- 父親が役割期待への負担感を感じていると、母親の育児負担感が高まる
- 対応が求められる児の行動に対してストレスが強い場合、心理的虐待に繋がる可能性がある

高木ら.2021.育児に積極的に関わる父親の心身の健康度に関連する要因.母性衛生.62(2).301-308  
加藤ら.2022.父親の育児参加が母親、子ども、父親自身に与える影響に関する文献レビュー.日本公衆衛生雑誌.69(5).321-337

父親自身への良い影響には、育児により父親自身の役割が発達することにより、家族として成長していくことに繋がると考えられます。負の影響には、父親が役割期待への負担感を感じていると、母親の育児負担感が高まります。児の行動に対してストレスが強い場合、心理的虐待に繋がる可能性があり、家族にも負の影響を及ぼすリスクもあります。

## 父親の産後うつ

19

- 産後1年間で、精神的な不調のリスクありと判定された父親は11.0%であり、母親の10.8%とほぼ同水準である
- 父親の産後うつは夫婦関係の悪化、子どもの成長・発達に負の影響を与える(デッカー他, 2019)

育児に関わる男性は、家庭と仕事での役割遂行からオーバーワークとなり、抑うつ傾向に陥りやすい(加藤ら, 2022)

父親が育児役割を適切に果たせるよう予防的な支援が重要

Takehara, K., Suto, M. & Kato, T. Parental psychological distress in the postnatal period in Japan: a population-based analysis of a national cross-sectional survey. *Sci Rep* 10, 13770 (2020)

今西洋介ら. 2023. 男性の産後うつと育児休業に関するアンケート調査. *日本小児科学会雑誌*. 127(1). 90-95

また、産後1年間で、精神的な不調のリスクありと判定された父親は11.0%、母親の10.8%とほぼ同水準であり、父親の産後うつは夫婦関係の悪化や子供の成長・発達に負の影響を与えていると言われています。特に父親は家庭と仕事の両立からオーバーワーク、抑うつ傾向に陥りやすいことも指摘されています。そのため、父親が適切な育児役割を果たせるよう予防的な支援が重要と言えます。

## 家族への育児支援を考える視点

20

- コペアレンティングとは、両親が親としての役割を一緒に担い、一方の親の努力をサポートすること (Feingberg, 2003)
- つまり、両親がお互いに支え合い、育児の責任を共有し、役割を調整しながら「夫婦とともに育児をする」という考え方
- アメリカで発展した考え方であり、育児により効果が確認されている
- 父親と母親の育児関与のバランスが均等であることを意味しているわけではなく、親としての個々の役割関係へ了解が土台 (加藤ら, 2014)



### コペアレンティングの効果

- 夫婦関係が良くなる
- 育児不安や育児ストレスが低下する
- こどもが生まれた後の抑うつ軽減
- より温かくこどもに接することができる

加藤道代ほか、コペアレンティング：子育て研究におけるもうひとつの枠組み、東北大学大学院教育学研究科研究年報63 (1), 2014  
Feinberg, Mark E. "The Internal Structure and Ecological Context of Coparenting: A Framework for Research and Intervention." *Parenting, science and practice* vol. 3.2 (2003): 95-131

家族システム論の考え方をもとに、コペアレンティングという考え方がアメリカで発展しました

コペアレンティングとは、「両親が親としての役割を一緒に行い、一方の親の努力をサポートすること」と定義されており、両親が協同して育児することを意味します。

先ほどご紹介した父親が育児を行った効果と同様に、コペアレンティングによる夫婦関係や育児の効果が明らかになっています。

コペアレンティングは、父親と母親の育児関与のバランスを均等にすることを目指すのではなく、夫婦がそれぞれの役割を話し合い、納得、理解することが重要とされています。

つまり、夫婦で協同して育児することを支援することが、子どもを含めた家族支援につながるのです。

では、父親が育児役割を果たし、夫婦で協力し子育てするためには、どのような支援が必要なのでしょう。

その前に、父親と母親の双方に対する思い、支援ニーズについて説明します。ここからは、院生の森さんが説明します。森さん、お願いします。



パパ・ママの思いと  
夫婦の関係

## 育児をする父親のもやもや

22

### 【妻との関係におけるもやもや】

妻に怒られたり責められたりすることが多いがどうすればいいかわからない
妻が自分にどのような家事や育児を求めているのかわからない
仕事と育児の両立が大変でも妻も大変そうなので相談できない
子どもが生まれてから妻と意見が合わず冷たい反応をとられる



第12回日本公衆衛生看護学会 学術集会 一般演題第41群「親子保健・福祉7」阿河勇太さまの「産前産後における父親のもやもやに関する質的分析—父親を対象とした全国調査より—」から許可を得て使用

育児をする父親のもやもやについてご紹介します。  
最初に、妻との関係に対してのもやもやです。

妻に怒られたり責められたりすることが多いがどうすればいいかわからない、妻が自分にどのような家事や育児を求めているのかわからないといった、妻の気持ちがわからなかったり、仕事と育児の両立を大変に感じていても妻に相談できない、といった声があります。しかし、父親は育児に対してどうしていいかわからないといった不安や戸惑い、大変さを感じていることを知らない母親も多いかもしれません。そのせいで育児を夫婦で共同できない可能性があります。

## 育児をする父親のもやもや

23

### 【子育てに関するもやもや】

母子手帳交付時

- |                          |
|--------------------------|
| 自分が子育てに向いていないのではないかという不安 |
| 育児全体への漠然とした不安            |
| 子育てと仕事の両立に関する不安          |
| 1人の時間が確保できなくなることへの不安     |

他のもやもや

- 一人の時間が欲しい
- イヤイヤへの対応がわからない
- 頑張っているのに子供は母親を求める

3, 4カ月健診時

- |                                 |
|---------------------------------|
| 子どもがパパ見知りをする                    |
| テレビやネットで紹介されている育児手法を試してもうまくいかない |
| 妻も同じだが仕事しながら家事や育児の量が多くて疲れる      |
| 自分の時間が永遠に持てないのではないか不安           |
| 子どもの発育状況に対する不安                  |

日本公衆衛生看護学会 学術集会 一般演題第41群「親子保健・福祉7」阿河勇太さまの「産前産後における父親のモヤモヤに関する質的分析—父親を対象とした全国調査より—」から許可を得て使用、一部抜粋

子育てに関するもやもやには、自分が子育てに向いていないのではないかという育児への不安を妊娠期から抱え、産後実際に育児をしてみても子どもがパパ見知りをする、うまくいかない、子どもへの対応がわからないということがあります。さらに仕事をしながらの家事や育児の量が多くて疲れる、といった仕事と育児との両立への不安を感じたり、一人の時間が欲しいといったプライベートな時間を求めていることがわかります。

## 育児をする父親のもやもや

### 【社会に対するもやもや】

父親学級や子育て講習会などの父親が参加しやすい学習機会が少ない
男性が子育てに参加することの社会的な認知や体制が整っていない
自治体によって父親を対象とした子育て支援に差がある状況にもやもやする
行政の子育てを支援する制度が少ない

#### 他のモヤモヤ

- 妊婦健診の場は女性が多く行きづらい
- 妊婦健診についていってもすることがなく、ただの付き添い役に思える
- 乳幼児健診に子どもを連れて行ったが、「お母さんはご一緒ではないですか？」と言われ、自分がくる場所ではないのかと感じた

父親の子育てに関するWEBアンケート調査.国立成育医療研究センター.2022  
日本公衆衛生看護学会 学術集会 一般演題第41群「親子保健・福祉7」阿河勇太さまの「産前産後における父親のモヤモヤに関する質的分析-父親を対象とした全国調査より-」から許可を得て使用

2歳以下の乳幼児をもつ父親母親への産前講座に関する全国調査.NPO法人ファザリング・ジャパン.2020

育児をする父親が社会に対して抱いているモヤモヤにおいて、自治体等の支援に関するものをまとめてみました。

父親が参加しやすい学習機会が少ない、男性が子育てに参加することへの社会的な認知や体制が整っていない、自治体によって父親支援に差がある、というような声があります。また、妊婦健診は女性が多く行きづらいなど、母親が支援の中心であり、子育てに取り組む父親が対象になりにくいといったモヤモヤを抱えているようです。

## ②支援ニーズ：育児をする父親

25

### 【自治体や周囲のサポートとして希望するもの】



#### 支援内容

- 胎児や出生後の生活をイメージできる支援(1)
- 母親への理解と共感を促進する専門的な関わり(1)
- 日常の育児に直結する知識、技術をタイムリーに得られる機会(1)
- 妻の精神面へのサポート(2)
- 子育て経験のある父親によるピアサポート(2)

#### 講座等の開催方法

- 土日や平日夜間の講座開催(3)
- 自宅近くなど開催会場を分散

1. 三里久美子他, 地域の専門職種から提供される妊娠期および育児期の支援に関する両親のニーズと父親支援の検討, 共立女子大学看護学雑誌, Vol. 8, pp.23-32, 2021)
2. 2歳以下の乳幼児をもつ父親母親への産前講座に関する全国調査.NPO法人ファザリング・ジャパン.2020
3. 父親の子育てに関するWEBアンケート調査.国立成育医療研究センター.2022

育児をする父親が自治体や周囲のサポートとして求めているものには、スライドにお示したものがあります。

専門職に関わる支援内容としては、胎児や出生後の生活をイメージできる支援、母親への理解と共感を促進する専門的な関わりなどを求めています。また、妻の精神面へのサポートや先輩パパからのピアサポートなどもあげられています。

講座等の開催日時や場所についても、参加しやすい環境を希望しているようです。

## ②支援ニーズ：育児をする母親

### 【夫婦・父親への子育て支援のニーズ】



#### 支援内容

- 夫婦の関係性を促進する
- 父親に自分や子どもに対する行動を学んでほしい
- 男性がもっと父親を自覚できるような内容、男性こそ必修化の仕組みに

#### 講座等の開催方法

- 父親が参加できる教室を望む（日曜・夜など）
- 家族で参加したい
- 参加できなかった父親と話題や資料を共有する
- コミュニティなど仲間をつくる機会の要望（同世代の夫婦での交流）

三里久美子他, 地域の専門職種から提供される妊娠期および育児期の支援に関する両親のニーズと父親支援の検討, 共立女子大学看護学雑誌, Vol. 8, pp.23-32, 2021)  
 出産・産後の生活に関するアンケート調査. ファザーリングジャパン. 2021  
 2歳以下の乳幼児をもつ父親母親への産前講座に関する全国調査. ファザーリングジャパン. 2020

さらに、母親が夫婦や父親に対する支援として抱いているニーズには、以下のものがあります。

夫婦の関係性を促進することや男性が父親を自覚できるような内容、父親に母親や子供に対する行動を学ぶことを望んでいるようです。

また父親のニーズと同様に、土日や夜間等の父親が参加できる教室や、そのほかにも同世代の夫婦の交流の機会などを求めています。

#### 母親ゲートキーピング

##### Maternal Gatekeeping(母親ゲートキーピング)の定義：

母親自身の父親の育児遂行への重要性の認識や満足度 (DeLuccie,1995)

父親の育児参加を排除したり、促進させたりするコントローラーとしての母親の態度であり、夫婦が協力して親役割を遂行する上で重要になるもの(Fagan and Barnett, 2003)

⇒父親の育児参加を促進もしくは抑制する重要な役割がある。

##### どうして抑制してしまうの？

- ・母親が家庭内労働の責任を放棄できず、父親に家事・育児を任すことができない
- ・家族への愛情の表現として母親が家事・育児を行っている
- ・家庭内労働という役割を得ることで自分の役割を果たしている (Allen and Hawkins 1999, 大和 1995)

母親の役割を無意識に感じてしまい、父親に家事・育児を完全に任せられない母親もいる

Allen and Hawkins, 1999, "Maternal Gatekeeping: Mothers' Beliefs and Behaviors That Inhibit Greater Father Involvement in Family Work". Journal of Marriage and Family, Feb., 1999, Vol. 61, No. 1

DeLuccie, M.F.,1995,"Mothers as Gatekeepers: A Model of Maternal Mediators of Father Involvement", Journal of Generic Psychology, 156: 115-132.

大和礼子, 1995, 「性別役割分業意識の二つの次元」『ソシオロジ』40(1) : 109-126

父親にも育児参加してほしいと考える母親が多い一方で、父親の育児参加を抑制する行動を母親がとってしまっていることもあります。

母親ゲートキープとは、母親自身の父親の育児遂行への重要性の認識や満足度であり、父親の育児参加を排除したり、促進させたりするコントローラーとしての母親の態度として定義されたものです。母親は自身の考えによって、父親の育児参加を促進することも抑制することもできる重要な役割を持っていますが、抑制してしまう背景としては以下の3つが報告されています。

1つ目は母親が家庭内労働の責任を放棄できず、父親に家事・育児を任せることができないこと、2つ目は家族への愛情の表現として母親が家事・育児を行っていること、そして最後に家庭内労働という役割を得ることで、自分の役割を果たしているということです。

父親にも家事・育児に参加してほしいと考える母親も多い一方で、母親自身が母親役割を無意識に感じてしまい、父親に家事・育児を完全に任せられないと感じている様子が見られます。



ここでブレイクとして、海外の育児休業を紹介します。

## Column：家族の育児支援 in 海外



男性の  
育休取得率

88.5%

- 1970年代から男女双方の仕事と育児の両立支援を実施！
- 両親が必ず90日は育休を取る制度(両親給付)がある！
- 子どもが12歳になるまで、分割して育休が取得できる！

男性の  
育休取得率

35.8%

(3%からの  
急成長！)

- 育休、手当給付期間の延長が母親の長期離職・就業中断に繋がった経験を活かした改革！
- 時短勤務でも手当を満額受け取れる→早期の職場復帰！
- 両親の育休取得で手当給付期間を2ヶ月延長できる！



29

スウェーデンは、1970年代から男女双方の仕事と育児の両立支援を実施しています。男性の育休取得率は88.5%と非常に高いです。これには、早期からの両立支援が実施されていることと、両親給付という、両親が必ず90日は育休を取り、給付をうけとる制度があることが背景としてあります。加えて、子どもが12歳になるまで分割して育休が取得できるなど、夫婦の生活に合わせて育休を取得することが出来ます。

ドイツの育休取得率はスウェーデンほど高くはありませんが、元々3%であった育休取得率を35.8%にまで急成長させた実績を持っています。ドイツでは元々、育休や手当給付期間の延長という子育て政策をとっていましたが、それが母親の長期離職や就業の中断に繋がってしまった、という過去があります。ドイツはその経験を活かして時短勤務でも手当を満額受け取ることが出来る制度や、両親の育休取得で手当給付期間が延長できる仕組みなど、父親が育休を取得しながらも両親が早期に職場復帰できるような政策がとられています。

日本の制度もよくなっていますが、もっと夫婦で子育てすることを応援している国があります。制度がよくなると、もっと地域に父親が増えてくることが予想されます。



## 夫婦（家族）への子育て支援

では、実際に父親を含めた夫婦への子育て支援はどのように行っていけば良いのでしょうか。

次のスライドから、皆さんが母子保健業務で遭遇するような場面に照らし合わせて4つのヒントをお話します。

## 家族支援の場面①

31

• 乳幼児健診にて...



よろしくお願いします。

お父さんが来てくださったんですね！  
①お母さんはどこにいますか？  
②お母さんから、お子さんのことについて、何かお話を聞いていますか？



家族支援として十分??

乳幼児健診に父親がお子さんを連れてきてくださった場面において、皆さんは普段どのような支援をしておられますか。実際の対応でどのようなことを考えながら対応されているのか、頭の中に思い出してみてください。

ここでは、保健師が父親に対して【お父さんが来てくださったんですね！①お母さんはどこにいますか？②お母さんから、お子さんのことについて、何かお話を聞いていますか？】といった声掛けを行っています。しかし、これでは家族支援としては不十分かもしれません。

## 家族支援の場面①

32

• 乳幼児健診にて...



よろしくお願いします。

①父親は母親の付き添いで来ているのでは、と考え、父親が母子保健の場に1人であることを当たり前としていません

お父さんが来てくださったんですね！  
①お母さんはどこにいますか？  
②お母さんから、お子さんのことについて、何かお話ししていますか？



(父親が来たのに、母親の話ばかり自分が来る場所ではないのかな)

②父親は子どものことについてあまり知らないだろう、母親の伝言役、代役だろう、と捉えています

父親への関わり方の価値観を転換させましょう

①お母さんはどこにいますか？といった発言の裏では、父親は母親の付き添いで来ているのでは、と考えており、父親が母子保健の場に1人であることを当たり前としていません

更に、②お母さんからお子さんのことについてなにかお話を聞いていますかという対応からは、父親は子どものことについてあまり知らないだろう、母親の伝言役、代役だろう、と捉えているように感じます。

こうした対応が、父親は自分が来る場所ではないと疎外感を感じる要因となっているのです。

父親を母親の支援者として捉えるのではなく、父親への関わり方の価値観を転換することが必要です

### ①父親を支援の対象として考えよう

- 子育て支援者の価値観が「子育て＝母親の役割」ではなく、**男女（父母、祖父母）問わずみんなで子どもを育てていく社会**を志向していくことが求められる。

特に父親の意識や行動の変化の萌芽期に、父親が受け入れられていると感じるような雰囲気作りが大切

例えば...

- 母親に訪問や健診時に父親の同席を勧める
- 健診などの場に来た父親が「支援の対象」となる関わり方をする

実際にどんな関わりが良いでしょうか  
一緒に見てみましょう

参考：小崎恭弘,田辺昌吾,松本しのぶ (2017) .家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援—少子化対策への切り札, ミネルヴァ書房,200-205.

ここでの家族支援のヒントは、①父親を支援の対象として考えよう です。

父親への支援を行っていくためには、子育て支援者の価値観が「子育て＝母親の役割」ではなく、男女（父母、祖父母）問わずみんなで子どもを育てていく社会を志向していくことが求められます。特に父親の意識や行動の変化の萌芽期に、父親が受け入れられていると感じるような雰囲気作りが大切とされています。

例えば母親に訪問や健診時に父親の同席を勧めたり、健診などの場に来た父親が「支援の対象」となる関わり方をする事です。父親を支援の対象とする関わりにはどのようなものが思い浮かびますか？

## 家族支援の場面①

34

- 乳幼児健診にて...



よろしくお願いします。

- ①「今日は」お父さんが来てくださったんですね！
- ②お子さんとお父さんやご家族のことについてお話聞かせていただきますね



ここでは、1つの例を紹介します。先ほどと同様の場面において、保健師は父親に対して、①「今日は」お父さんが来てくださったんですね！②お子さんとお父さんやご家族のことについてお話を聞かせていただきますねと対応しています。

## 家族支援の場面①

35

• 乳幼児健診にて...



よろしくお願いします。

①父親が来るのは普通のこと。今日はたまたま父親が来る日！

①「今日は」お父さんが来てくださったんですね！  
②お子さんとお父さんやご家族のことについてお話聞かせていただきますね



(「子育てをしている父親」として受け入れてもらっているな)

②父親を「母親の代役」ではなく「子育てをしている親」として対象の中心にしています

お父さんが来るのは普通のこととして保健師が捉え、父親を母親の代役としてではなく、子育てをしている親として対象の中心に置いた関わりになっていますね。このように、保健師が父親も支援の対象と考え、父親や親子関係を知ろうとする姿勢によって、育児に取り組もうとしている父親は受け入れられていると感じるのです。

もちろん、対象となる父親によって、支援の工夫は様々になるでしょう。すでに実践されているかたは、どのような工夫をされているのか後程のディスカッションにて共有していただければと思います。

## 家族支援の場面②

36

### • 母親のお話を聞いていると...



① やって、と言ったことはやってくれるけど...自分から家事や育児をして欲しいです。

② 夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。

① 話を聞いていると、お父さんはあまり協力的じゃないのかな

② お母さんはお父さんの育児に対する気持ちがわからないんだな



子育てに関して、母親は父親の考え方や思いがわからないようです。  
どのように支援しましょうか？

次に母親からのお話を聞いている場面から家族支援を考えてみましょう。母親から「①夫はやってと言ったことはやってくれるけど...自分から家事や育児をして欲しいです。②夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。」という相談を受けていますね。皆さんも実際の支援で、このようなお話を聞いたことはありませんか？子育てに関して母親は父親の考え方や思いがわからず、不満を持っているようです。どのように支援しましょうか？こうした母親に行っている支援を思い浮かべ、照らし合わせていただきたいと思います。

## ②母親に父親の思い・ニーズを伝えよう

父親対象支援実施できない要因【ニーズが不明】が最も多い  
(高木&小崎,2021)

### Step1. 父親の思い・ニーズを把握する

家族支援を充実させるには、現在、実施の少ない、父親支援の更なる展開が必要  
母親に対して父親の思いを伝えたり、父親に向けた事業等の支援を展開するには、  
まず**父親の思いや父親自身のニーズ**を把握することが求められる。

父親のニーズを把握するには、事業・組織としてニーズ調査を実施する必要がある、個人では実施できない...。  
明日からできるニーズの把握とは？



参考：小崎恭弘,田辺昌吾,松本しのぶ(2017).家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援一少子化対策への切り札. ミネルヴァ書房,200-205.  
高木悦子,小崎恭弘(2021) 全国基礎自治体の父親支援実施の現状に関する研究.令和2年度 厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)) 分担研究報告書,49-64.

支援方法の一つは、母親に父親の思い・ニーズを伝えることです。  
そのためには、まず父親の思いやニーズを把握する必要があります。父親の  
思いやニーズを知ることは個別への支援だけでなく、父親に向けた事業等の  
支援を展開する上でも大切です。大規模なニーズ調査を実施することは難しく  
とも、ニーズを把握することは可能です。では、明日から実施できるニー  
ズ調査にはどのようなものが思い浮かぶでしょうか。

### 【明日からできるニーズ把握】

1. 父親に積極的に話しかける
    - ・ 父親のリアルな声を聴く機会を大切に
  
  2. 父親のニーズ・特徴を把握する  
(書籍等を参考にする)
    - ・ 父親同士は会話することに非常に慎重
    - ・ 地域に置ける父親同士の交流に対する父親の主体性は乏しい など
- 外部資源(ファザーリングジャパン等)のニーズ調査の結果も参考になりますね
3. 小規模の父親のニーズを把握できる調査
    - ・ 1つの支援の場でのアンケート調査等
    - ・ 小さなニーズでも集まれば、その地域の父親のニーズを示すエビデンスに

参考：小崎恭弘,田辺昌吾,松本しのぶ(2017).家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援一少子化対策への切り札. ミネルヴァ書房,200-205.  
高木悦子,小崎恭弘(2021) 全国基礎自治体の父親支援実施の現状に関する研究.令和2年度 厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)) 分担研究報告書,49-64.

ニーズを把握する方法として、まずは普段の業務で父親に出会った際に、父親に積極的に話しかけるなど父親のリアルな声を聞く機会を大切にすることがあります。また、書籍や調査結果を参考に父親のニーズや特徴を把握すること、例えば父親の特徴として、父親同士は会話することに非常に慎重、地域に置ける父親同士の交流に対する父親の主体性は乏しいなどがあります。さらに、両親学級など一つの支援の場でのアンケートを実施することです。小さなニーズでも集まればその地域の父親のニーズを示すエビデンスになります。明日から実践できるニーズ把握の方法はありましたでしょうか。

②母親に父親の思い・ニーズを伝えよう

Step2. 父親に対する母親のもやもや・ニーズを理解する

- 母親を<補完する父親>を求める (母親が)乳腺炎になって熱を出した時、(父親)に早く帰って来てもらえないか
- <子どもと向き合う父親>を求める もっと(子ども)と100パーセントで向き合って(欲しい)
- <夫婦関係の安定(を求める母親)> 「嫌な雰囲気の中で育てたくないから、私もちょっとは我慢しないとイケない」

母親のニーズを理解することで、母親と父親の認識のずれに気づくことができる

参考：新田父親の捉える父母関係の特徴

次に、父親のニーズだけでなく母親の父親に対するモヤモヤ・ニーズを把握することも大切です。

母親は「自身を補完する父親」や「子供と100%で向き合う父親」を求めている一方で、夫婦関係の安定のために我慢している場合もあります。こうした母親のニーズを理解することで、母親が父親に求めていることと父親の思いのずれに気づくことができるのです。

### ②母親に父親の思い・ニーズを伝えよう

#### Step3. 母親に対して、父親の思い・ニーズを伝える

- Step1 で把握した「父親の思い・ニーズ」を母親に対して伝える
- 「父親の思い・ニーズ」を伝えるときは、ただ「事実を伝える」と、母親がショックを受けたり、責められている、と感じる可能性がある
- **母親の思いを考慮**しながら、父親の思いを伝えることが大切



参考：工藤保則ら.2016.<オトコの育児>の社会学.ミネルヴァ書房

更に、実際に把握した父親の思い・ニーズを伝える際には、ただ事実を伝えると母親がショックを受けたり、責められていると感じる可能性があります。母親の思いを考慮し、共感の姿勢と共に父親の思いを伝えることが大切です

## 家族支援の場面②

41

• 母親のお話を聞いていると...

共感+α (父親の思い・ニーズ)

① やって、と言ったことはやってくれるけど...自分から家事や育児をして欲しいです。

① 家事や育児に追われて、お母さん大変ですよ。 「協力はしたいけど、何をすればよいかわからない」というお父さんが多いようです。



② 夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。

② 「母親のような育児ができない」「自分があやしても泣き止まない」「育児に自信がなく、うまくできるか不安」と思っているのかもしれない。



**父親が育児や夫婦生活で感じているもやもややニーズを母親に伝えることで、お互いの理解を促すことができます**

例えば、①の『やって、と言ったことはやってくれるけど...自分から家事や育児をして欲しいです。』と母親から訴えがあった場合には、『お母さんも家事や育児に追われて大変ですよ。 「協力はしたいけど、何をすればよいかわからない」というお父さんが多いようです。』、②の『夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。』という訴えに対しては、『父親は「母親のような育児ができない」「自分があやしても泣き止まない」など、「育児に自信がなく、うまくできるか不安」と思っているのかもしれない。』といったふうに、母親への共感に加えて、父親の思いやニーズを伝えてみましょう。

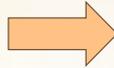
父親が育児や夫婦生活で感じているもやもややニーズを母親に伝えることで、お互いの理解を促すことができます。

参考：夫婦のコミュニケーションを促そう

アイ (I) メッセージ

主語

あなた



わたし

例えば

Youメッセージ 「もっと手伝ってよ！」

Iメッセージ 「早く帰ってきたときには子供を見てくれると  
(私は) 助かるな」



**あくまで、自分の気持ちや感情を伝えるにとどめることで、  
相手をコントロールしようとしたり責めたりすることがなくなります。**

参考：土井理美,三瓶舞紀子,伊角彰 (2019).保健師にもできる妊産婦のメンタルヘルスケア.大修館書店.  
蛭崎寿之 (2018).歯科技工士として身に付けたいコミュニケーションスキル 心理学を学んだ筆者が考える"人と人をつなぐコミュニケーション"  
(第3回) 伝え方 アイメッセージとユーメッセージ.歯科技工,46 (II) ,1232-1236.

また、夫婦がお互いを理解するためには、夫婦のコミュニケーションを促すことも一つの方法です。みなさんは、夫婦のコミュニケーションを促すためにどのような支援をされていますか？ここでは、コミュニケーション方法の一つであるアイメッセージという手法を紹介します。

あなたではなく私を主語にして主張することです。例えば、「もっと手伝ってよ」はあなたを主語にしたユーメッセージです。一方で、「早く帰ってきたときには子供を見てくれると私は助かるな」と言うのは自分を主語にしています。アイメッセージはあくまで自分の気持ちや感情を伝えるにとどめるので、相手をコントロールしようとしたり責めることがなくなります。自分の気持ちを伝えるだけで、その後の判断は相手に任せるため相手を尊重したコミュニケーションになるのです。

• 母親のお話を聞いていると...

②夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。



伝え方の提案  
(アイメッセージ)

②お父さんに「育児に対してどう思っているのか教えてくれると、安心する」というように主語をお母さんにして気持ちを伝えるのはどうですか？



夫婦のコミュニケーションを促すことで、  
お互いの考えを理解することにつながります

夫婦のコミュニケーションを促すために、先ほどの場面で夫の考えがわからず聞くこともできない母親に対して、世の父親のモヤモヤやニーズを伝えるだけでなく、アイメッセージを活用した夫婦のコミュニケーション方法の提案を行うことも効果的かもしれません。例えば、先ほどの『夫が育児に対して、ちゃんと考えているのか、わかりません。あまり聞くこともできません。』という訴えに対して、『②お父さんに「育児に対してどう思っているのか教えてくれると、安心する」というように主語をお母さんにして気持ちを伝えるのはどうですか？』と提案することも1つの方法です。こうして、夫婦のコミュニケーションを促すことは夫婦が互いの考えを理解し、子育てに関する方向性を一つにすることにつながります。

母親によってゲートが閉じられているとき

学生時代の友達からランチに誘われた♪  
行きたいけど、〇〇君はどうしようかな？

ありがとう。でもちょっと不安だから  
やっぱり私が連れて行くね

(どうしよう。パパと2人にしたことないから不安だ…)



夫の子どもの世話のゲート



その日は僕もお休みだから、〇〇君は僕が見ておくよ。

そう？じゃあ2人で  
行っておいでよ。

(やっぱり僕が手を出さないほうがいいのかな？)

母親は父親に任せきれずに自分で抱えてしまい、  
父親は自分が関与しないほうがいいのかと自信を無くしています

今度はある夫婦の会話の場面です。父親の育児参加を促すための支援を考えながらお聞きください。

母親は学生時代の友人から誘われたランチ会に行きたそうにしていますが、その間子どもは誰が見るかと頭を悩ませています。そこへ父親が『その日は僕もお休みだから、〇〇君は僕が見ておくよ。』と提案してくれたのですが、普段から子供の面倒をみていない父親と子どもを2人きりにして出かけることに不安を感じ、『ありがとう。でもちょっと不安だからやっぱり私が連れて行くね』と言います。母親は父親に任せきれずに自分で抱えてしまい、父親は自分が関与しないほうが良いのかと自信を無くしているところです。

③母親ゲートキープを活用しよう！

父親の育児参加を促す母親ゲートキープのポイント3つ

①父親と子どもの接点をつくる

- ・父親がひとりで世話をする時間をつくる

②父親のやる気を促す

- ・「さすが!」「すごい!」でほめる
- ・優しく頼む
- ・夫の知らない児の様子を伝える (ex:今日は〇〇ができるようになったんだよ♪)
- ・子どもの代弁をする (ex:パパとお風呂にはいりたいって)

③夫のぎこちなさを大目にみる

- ・余計な手や口はださない

ヒント②の共感+父親ニーズを伝える  
を実行した後に、父親の育児参加を促すためには父親とどう接すればよいか、  
母親に伝えてみましょう♪



塩野悦子,産後クライシスのからくりと予防方法, 助産雑誌Vol.71,no.10(2017), 748-755

この夫婦への家族支援のヒントとしては、先述した母親ゲートキープが活用できます。

父親の育児参加を促す母親ゲートキープのポイントは3つあり、1つめは父親がひとりで子供を世話をする時間をつくるなど父親と子どもの接点をつくること、2つめは父親を褒めたり子供の代弁をすることで父親のやる気を促すこと、3つめは余計な手や口はださずに夫のぎこちなさを大目にみるということです。

これは、父親の育児参加を促すために父親とどう接すればよいか母親に伝えるという方法で、実際の保健指導に活用することができます。

## 参考：父親によるゲートキープ

### 妻のストレス発散のゲート(別名：思いやりのゲート)

- ・父親によるゲートキープは、母親の育児の負担を軽くすることも助長することもできる
- ・このゲートを開き、妻の負担を軽減させるには以下の5つのポイントが挙げられます。

#### ①たいへんな妻をよく見ている

妻の大変な時に自らみようとする/産後女性の心身の大変さの理解

#### ②妻の話をよく聞く

解決を急がず、聞き役に徹する/共感する

#### ③妻に言葉をかける

「大丈夫?」「今日はどうだった?」「ありがとう」等

#### ④妻の作業を減らす

できるだけ率先して行う/自分のことは自分で行う

#### ⑤妻の気分転換を支える

外出などの気分転換/妻だけの時間をつくる

たまには気分もリフレッシュしないとね!



塩野悦子,産後クライシスのからくりと予防方法, 助産雑誌Vol.71,no.10(2017), 748-755

また、先ほど母親ゲートキープについて説明しましたが、父親によるゲートキープがあることも報告されています。

父親によるゲートキープは、別名を思いやりのゲートとも呼び、妻の育児の負担を軽くする重要な役割があります。このゲートを開き、妻の負担を軽減させるには以下の5つのポイントがあります。

1つめはたいへんな妻をよく見ていること、2つめは解決を急がずに妻の話をよく聞くこと、3つめは妻に言葉をかけること、4つめはできるだけ妻の作業を減らすこと、そして最後は妻の気分転換を支えることです。

父親によるゲートキープは、妻にどう接したらよいかわからないと悩む男性への支援に有効であると考えられます。

・母親に対する保健指導の例



今度友人と少しランチに出かけることになって、その間子どもを誰が見るか困っています。夫は「僕がみようか?」と言ってきてるんですが、夫と子どもを2人にしたことがないので不安です。やっぱり私が連れて行った方がいいのかな…。

たしかにお母さんはいつもお子さんのことを見ていますし、慣れていないお父さんに面倒見れるかと考えたら少し心配になってしまいますよね。  
**お父さんも上手にできるか不安に思っているかもしれません。**

ただ、お母さんにリフレッシュしてほしい、お母さんの助けになりたいと思っているお父さんも多いので、やる気になっているお父さんに任せてみるのはどうでしょうか？まだ日もあるし、不安だなと思うところをお互いに話してみて一緒にやっておくと、次お父さんに子どもを預けるときに安心ですし、お母さんの負担も軽くなると思います。



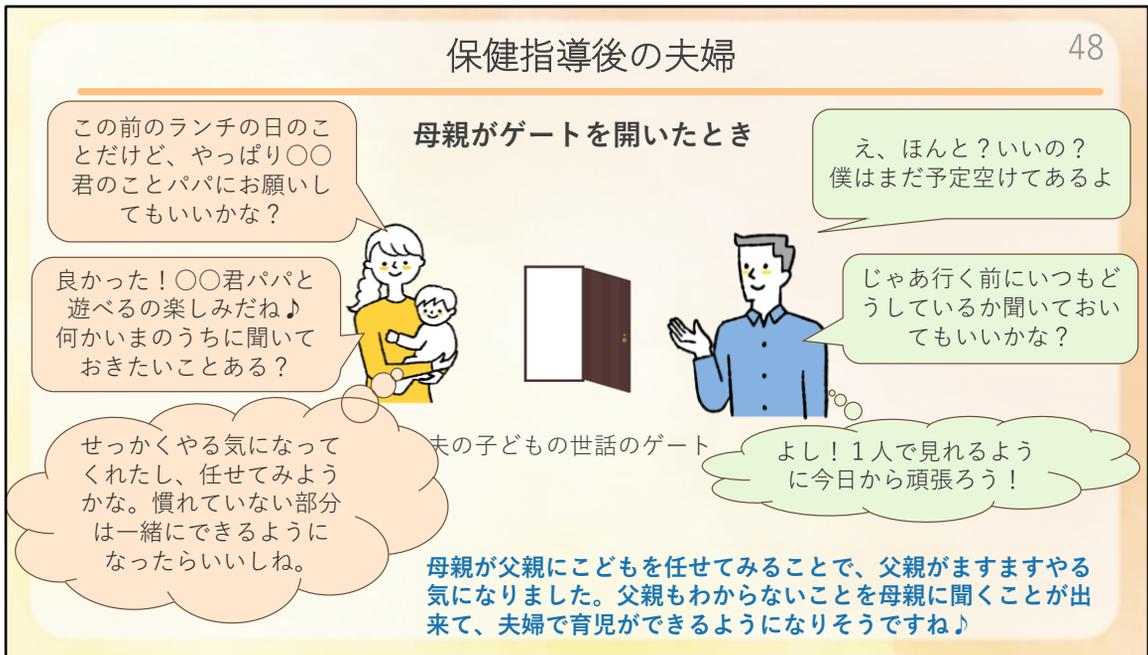
保健師

**「共感+父親の気持ちを代弁」した後に、お父さんに子どもを任せることや、夫婦と一緒に育児することを伝えることで、母親がゲートを開くことを促します。**

先ほどの場面の母親が保健師に相談に来たときの、保健指導の例についてお話しします。

母親が先ほど話していた悩みを保健師に打ち明けた後、保健師は『たしかにお母さんはいつもお子さんのことを見ていますし、慣れていないお父さんに面倒見れるかと考えたら少し心配になってしまいますよね。お父さんも上手にできるか不安に思っているかもしれません。』と母親の悩みに共感し、その後父親の思いについてここで代弁をしています。

そして、『お母さんにリフレッシュしてほしい、お母さんの助けになりたいと思っているお父さんも多いので、やる気になっているお父さんに任せてみるのはどうでしょうか？まだ日もあるし、不安だなと思うところをお互いに話してみて一緒にやっておくと、次お父さんに子どもを預けるときに安心ですし、お母さんの負担も軽くなると思います。』と母親によるゲートキーピングを促すために、父親に子供を預けること、夫婦がお互いに不安なことを一緒に解決することを提案しました。



これは保健指導を受けた後の夫婦の会話です。母親「この前のランチの日のことだけど、やっぱり〇〇君のことパパにお願いしてもいいかな？」、父親「え、ほんと？いいの？僕はまだ予定空けてあるよ」、母親「良かった！〇〇君パパと遊べるの楽しみだね♪何かいまのうちに聞いておきたいことある？」、

父親「じゃあ行く前にいつもどうしているか聞いておいてもいいかな？」母親は父親に子どもを預けてみることにしました。父親は子どもとの時間を持つことが出来たことが嬉しそうです。また、母親がわからないことはなに？と聞くことで、父親も聞きやすい雰囲気になり、夫婦双方が不安を解消できました。

保健指導を受け、母親がゲートを開くことで、父親もますますやる気が出て、夫婦で育児ができるようになりそうです。

## 家族支援のヒント

49

### ④先進優良事例を参考にしよう

#### ①日曜ひろば、お父さんと子どものための日曜ひろば、父親支援講習会 (北海道江別市)

対象：就学前の子どもを持つ父親

取り組み内容（2019年度） 「日曜ひろば」年5～6回 「父親支援講習会」年1回

- 子育て支援センターのひろばを**日曜日**に開放
- **父親と子どもに限定したひろばの解放**を定期的（年2回）に開催
- 父親の子育て知識啓発を目的として、年1回講習会の実施



#### 父親

休日に利用しやすく、  
父親だけなら過ごしやすい

#### 夫婦

「妻に時間を作ってあげたい」  
⇒母親が休める時間に

参考：竹原健二（2023）基礎自治体における母子保健事業の父親支援好事例集..厚生労働省科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究.

家族支援のヒントの最後は、先進優良事例を参考にしようです。今回は基礎自治体における母子保健事業の父親支援好事例集から2つの先進優良事例を説明します。ご自身の自治体での取り組みと比較しながら、実践に取り入れることが出来るポイントはないか考えてみてください。

1つ目の事例は北海道江別(えべつ)市の日曜ひろば、お父さんと子どものための日曜ひろば、父親支援講習会です。

父親の利用促進のために子育て支援センターのひろばを、父親が参加しやすい日曜日に開放したものです。

この事例のポイントは仕事をしている父親も参加しやすい日程や、父親と子どものみを対象を絞ったひろばの解放など、父親が参加しやすい環境をつくっている点です。父親にとっては参加しやすく、夫婦にとっては父親が子どもと外出することで日頃家事や育児で忙しい母親が休める機会になっています。

この事例集はホームページでいつでも見るができますので、ぜひ参考にしてみてください。

## 家族支援のヒント

### ④先進優良事例を参考にしよう

#### ②子育てする父親を応援するための「パパスクール城南」（福岡県福岡市城南市）

対象：父親になる予定の方  
1歳未満の子どもを持つ父親

- ◎父親支援のNPO法人と一緒に講座内容検討
- ◎先輩パパの参加で交流促進

#### プレママパパのワークショップ

- ・ 夫婦コミュニケーションの講話やプレパパ向け交流会など

#### 父親同士の交流会

- ・ 講話と交流会
- ◎母親向け内容同時開催 & 託児付き

#### 父親の子育てを応援する会議 年5回

- ・ ファザーリングジャパン九州やパパスクール城南受講者が父親の育児参加や夫婦コミュニケーションの大切さを啓発するための方法等の検討

#### 父親

- ・ 妻の話をよく聞いたり、家事や育児をするようになった
- ・ 他の父親の悩みや育児が参考になる

#### 夫婦

- ・ 夫婦のコミュニケーションを意識するように



参考：竹原健二（2023）基礎自治体における母子保健事業の父親支援好事例集。厚生労働省科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基礎研究

次に福岡県福岡市城南市の 子育てする父親を応援するための「パパスクール城南」を紹介いたします。父親になる予定の男性や1歳未満の子供を持つ父親を対象に様々な取り組みが行われています。この事例のポイントは、プレママパパ向けに夫婦コミュニケーションの講話を行っており、参加後に父親が妻の話をよく聞いたり、家事や育児をするようになったなど父親の行動変容や夫婦のコミュニケーションを意識するきっかけになっています。また、父親同士の交流の機会を設けることで、父親同士がリアルな悩みや子育ての考え方を共有できる機会を設けており、父親にとって今後の育児の参考になる先輩パパを含めた他の父親の悩みや育児を聞くことが出来る機会になっています。

- 社会の変化に伴い、「子育て＝母親」ではなく、「父親と共に夫婦で子育てを行う」ことは珍しくないとの認識が広まってきている
- 父親の育児参加は夫婦関係、子どもの成長・発達に影響を与えるため、父親の育児支援が必要である
- 夫婦への子育て支援では、「父親を支援の対象として考える」「母親に父親の思い・ニーズを伝える」「母親ゲートキープを活用する」「先進優良事例を参考にする」ことが重要である

**考え方を少し変えるだけで  
「父親や夫婦支援のきっかけ」を得ることができる**

それでは、本日の講話のまとめです。

- 社会の変化に伴い、「子育て＝母親」ではなく、「父親と共に夫婦で子育てを行う」ことは珍しくないとの認識が子育て世代を中心に広まってきています。
  - 父親の育児参加は夫婦関係、子どもの成長・発達に良い影響を与えるため、父親の育児支援が必要です
  - 夫婦への子育て支援では、「父親を支援の対象として考える」「母親に父親の思い・ニーズを伝える」「母親ゲートキープを活用する」「先進優良事例を参考にする」といった方法を紹介しました。
- 考え方を少し変えるだけで「父親や夫婦支援のきっかけ」を得ることができます。

今回の講話の中で、何か取り入れられそうなものはありましたでしょうか。明日からの活動に少しでも役に立つことが出来れば幸いです。

本日の講話はここで終了させていただきます。ありがとうございました。

## グループワークのテーマ

52

- 今回の感想
- 普段の保健師活動で実践されている夫婦（家族）支援について
- 今後どのような夫婦（家族）支援が必要か、そのために準備すること

この後はグループワークを行いたいと思います。

テーマはスライドに示した通りで、感想、普段の保健師活動で実践されている父親を含めた夫婦・家族支援について、そして今後どのような夫婦支援や家族支援が必要か、そのために準備することです。

このテーマに関わらず、夫婦支援について普段の実践で困っていることなどがあれば、この機会にぜひグループで話し合ってみてください。